

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間

平成 25 年 8 月 ~ 平成 26 年 7 月



株式会社 柏原鐵工所

平成 26 年 12 月 作成

目 次

1	社長挨拶	1
2	事業活動の概要	2
	会社概要	
	組織図	
	活動体制	
3	環境方針	4
4	活動指針	4
5	活動目標	5
6	環境活動計画	7
7	今年度の目標、実績、評価	8
8	その他の環境活動	9
9	今年度の活動評価	11
10	該当環境関連法規、訴訟の有無	12
11	地震、火災等による緊急時対応マニュアル	13
12	代表者による評価	14
13	来年度に向けて	15

社長の挨拶

今日の日本の経済は、自民党安倍政権による“アベノミクス”によって回復傾向にあります。これは一部の大企業の話であり、中小零細企業まで恩恵を受けていないのが現実であります。こんな現状から消費税8%から10%に上がるということは消費がまた冷え込み失速することになるでしょう。2020年東京でのオリンピック開催という好材料が関連する建設業界も含めて景気が上向くことを期待します。

弊社は、昭和37年の創業以来一貫して鉄骨建築業を営んで参りました。お客様の高い要望に応えられる様に新しいCADシステムを導入し、積算から加工まで素早い対応が出来ることを目指しています。

今年度は、昨年と同様に『安全はすべてに優先する』を第一に考え、5S活動も加えて社員全員ゼロ災害を目標として、安全な職場環境・社員の安全教育に力を尽くしていきたいと考えております。

これからもその信頼に応えられるよう、関係業者の協力を仰ぎながら、社員一丸となって精進していきたいと思っております。よろしくごお願い致します。

平成26年12月

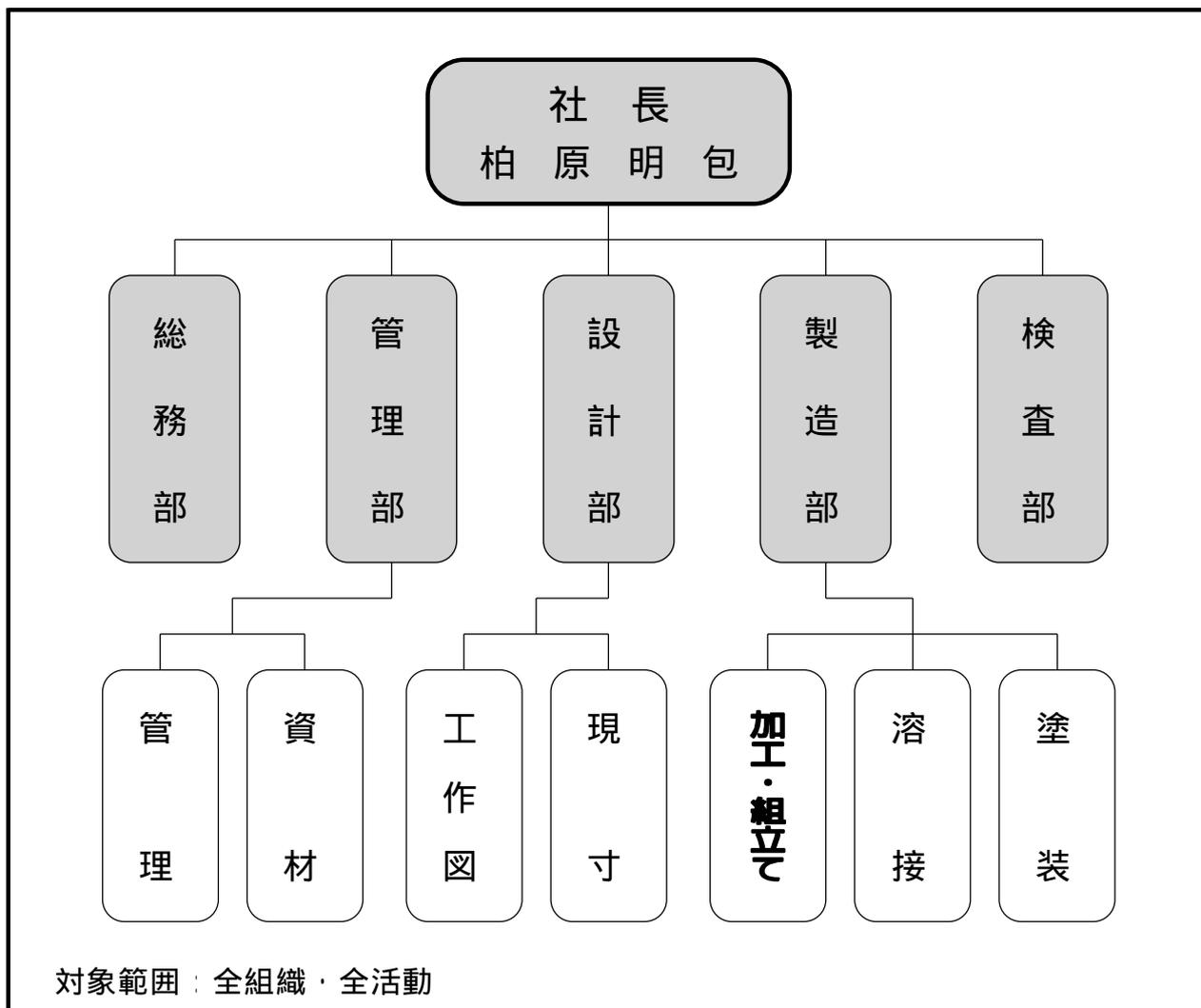
株式会社 柏原鐵工所
代表取締役社長 柏原明包

事業活動の概要

会社概要

事業所名 代表者名	株式会社 柏原鐵工所 代表取締役社長 柏原明包	
住所・連絡先	〒425-0045 静岡県焼津市祢宜島124-2 電話 054-624-5803 FAX 054-623-0046 e-mail info@e-kashiwa.com web http://e-kashiwa.com/	
建設業許可	建築工事業・鋼構造物工事業 静岡県知事許可（般-23）第2124号 大臣認定 全構協Hグレード 認定番号 TFB H-120255	
事業内容	一般建築鉄骨・鉄骨耐震ブレース・鉄骨階段・鉄骨工事一式	
事業の規模	従業員数 30名（平成26年10月現在） 資本金 800万円 売上高 約10億8,700万円（平成25年度実績） 延べ床面積 2,770.3㎡	
主要取引先 （敬称略50音順）	臼幸産業株式会社 木下建設工業株式会社 近藤建設工業株式会社 瀬戸建設株式会社 東亜建設工業株式会社 戸田建設株式会社 山本建設株式会社	株式会社 橋本組 五光建設株式会社 清水建設株式会社 第一建設株式会社 東急建設株式会社 名工建設株式会社
エコアクション21	認証・登録番号 0004784 認証・登録日 平成22年3月29日 有効期間 平成28年3月28日 環境管理責任者 中島初江 実務担当者 中島重男 連絡先 k.kajiya@ka.tnc.ne.jp	 エコアクション21 認証・登録番号0004784

組織図



環境管理における活動体制

代 表 者	柏原明包	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の目標及び計画の承認 ・環境活動全体の評価と見直し ・環境方針の策定及び改訂 ・経営資源の準備 	連絡担当者
環境管理責任者	中島初江	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の計画立案及び実施と経営者への報告 ・環境活動の自己チェックの実施 ・環境方針及び活動計画の見直し 	
実務担当者	中島重男	<ul style="list-style-type: none"> ・管理責任者の補佐 ・管理データの収集及び比較整理 ・『環境活動レポート』の作成 	

環境方針

株式会社柏原鐵工所は、建設事業を推進していくに当たり、地域との関わりを大切にし、環境に負担をかけないように配慮した、ごみ削減及び再利用・再資源化また、化学物質の低減を最大限に実現できるよう、持続可能な循環型社会づくりを目指します。

活動指針

1	事業活動において、省資源化・省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減・水使用量の削減を目指す。
2	事業活動において、現場で発生する産業廃棄物の排出削減を目指すとともに、廃棄物の収集・分別を徹底して行い、再資源化できるようにする。
3	有害化学物質の含有量が少ない塗料の推奨に努める。
4	備品購入の際、グリーン購入の推奨に努める。
5	5 S 活動を徹底する
6	上記の活動を継続させるため、数値目標を設定して行い、査定・評価し、日々改善に努める。
7	事業活動において、建築基準法及びその他の関係法令を遵守し、環境保全に努める。
8	当社は上記活動を実施するに当たり、本方針を従業員全員に周知徹底します。

平成 25 年 10 月改訂 (株)柏原鐵工所 代表取締役 柏原明包

代表者
印

活動目標

弊社では、平成21年度を環境活動元年とし、当初はその前年である20年度を基準年として活動してきました。

しかし、近年の社会状況の変化に伴い弊社としても変革を余儀なくされ外注に頼っていたものを改め自社で製作することが多くなってきました。そのため20年度を基準としたデータとは比較出来なくなってきました。

そこで基準年を平成22年度に変更することとし、新たな基準値を設定しました。

仕事量を同等にしたうえで、毎年マイナス1%を目標値とする。

【基準値・目標値の設定方法】

各年度の受注物件及び物件数により、目標値に対して実測値が大きく変動してしまうので単純に比較できない。そのため仕事量に直接関係のある鋼材の購入量を基準とし、その増減の割合を基準年の各データと同等にします。

年度	鋼材購入量	割合	基準値
平成22年度	3,077.8 t	100.0 %	基準年の各データ
平成23年度	4,022.8 t	130.7 %	基準年のデータに30.7%増加した数字が基準値となる
平成24年度	4,757.2 t	154.6 %	基準年のデータに54.6%増加した数字が基準値となる
平成25年度	5,264.0 t	171.0 %	基準年のデータに71.0%増加した数字が基準値となる

上記表のとおり、基準年を100%と考えると今年（平成25年度）の鋼材購入量は71.0%増加している。よって基準年の各データの71.0%増の数値が仕事量同等数値（以下基準値という）となります。

$$\text{基準年の各データの数値} \times 171.0 \% = \text{基準値}$$

上記計算を行うと各データ数値は基準年と同じ水準となり、比較出来る“基準値”となる。その基準値から3%削減した数値が平成25年度の《目標値》となります。

$$\text{基準年の各データの基準値} \times 97.0 \% = \text{目標値}$$

これによって、平成25年度の各項目の《目標値》が出て【実測値】と比較出来るようになります。

各年度の目標値は、次項の表となります。

		平成 22 年度 (2010 年)	平成 23 年度 (2011 年)		平成 24 年度 (2012 年)		平成 25 年度 (2013)		平成 26 年度 (2014)
		基準年	基準値 基準年 × 130.7%	目標値 基準値 × 99 %	基準値 基準年 × 154.6%	目標値 基準値 × 98 %	基準値 基準年 × 171.0%	目標値 基準値 × 97 %	目標値 基準値 × 96 %
電力使用量 (KWh)		228,283	298,366	295,382	352,852	345,795	390,364	378,653	- 4 %
化石 燃料	ガソリン (L)	666.22	870.75	862.04	1,029.76	1,009.17	1,139.24	1,105.06	- 4 %
	軽油 (L)	4,432.94	5,793.85	5,735.91	6,851.89	6,714.85	7,580.33	7,352.92	- 4 %
二酸化炭素 排出量 (kg - CO ²)		157,392.01	205,711	203,654	243,265	238,400	269,140	261,066	- 4 %
コピー用紙 使用量 (t)		1.00908	1.32	1.31	1.56	1.53	1.73	1.67	- 4 %
産業廃棄物 排出量 (t)		389.52	509.10	504.01	602.07	590.03	666.08	646.10	- 4 %
水使用量 (m ³)		662	865	857	1,023	1,003	1,132	1,098	- 4 %
有害化学物質 含有量 (t)		1.56162	2.04	2.02	2.41	2.37	2.67	2.59	- 4 %
グリーン購入 (件)		-	-	1 件	-	2 件		3 件	4 件

平成 26 年度からの目標値はその年の鋼材購入量により変動します。

購入電力の CO² 排出係数 0.474kg - CO² / KWH

目標値について

今までの目標値の出し方は、その年度の仕事量によって大きく左右され単純に比較するのは難しいと判断しました。

この目標値の出し方は、鋼材購入量の増減が仕事量に一番影響されると考え、この増減の割合を他の項目にも反映させて比較しようというものです。この目標値の方が、今までの目標値より正確に比較出来るものと考えました。

環境活動計画

取り組み事項	取り組み内容（詳細）
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具、その他電化製品の不必要時の消灯・消電
	空調設備の温度設定の徹底（夏26℃以上 / 冬22℃以下）
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節
	照明器具・空調設備の定期的な清掃
	計画的な輸送・運搬の実現
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止
	自動車内エアコンの温度設定の見直し
	自動車の定期点検・整備の励行
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	廃棄物を出さないために購入時の再検討
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用
	書類等の電子化推進
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底
	3Rの徹底 Reduce（ゴミ削減） Reuse（再利用） Recycle（再資源化）
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底
	材料在庫の管理、機械設備の定期点検・整備の徹底
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害物質の含有量が少ない、または有害物質が含まれていない塗料を提案する
水道水削減の取り組み	節水に努める
	止水の確認、漏水検査
その他 環境活動の取り組み	5Sの徹底（整理・整頓・清潔・清掃・躰）
	グリーン購入
	防災訓練の実施
	地域社会における緑化運動の推進

今年度の目標・実績・評価

		平成 22 年度 (2010 年)	平成 25 年度 (2013 年)		平成 25 年度 (2013 年)	評 価
		基準年	基準値 基準年 × 171.0%	目標値 基準値 × 97 %	実測値 前年度実測値	
電力使用量 (KWh)		228,283	390,363.930	378,653.012	215,753 246,223	
化石 燃料	ガソリン (L)	666.22	1,139.236	1,105.059	3,845.03 2,099.84	×
	軽油 (L)	4,432.94	7,580.327	7,352.918	11,077.85 6,238.43	×
二酸化炭素排出量 (kg - CO ²)		157,392.01	269,140.337	261,066.127	190,175.187 168,568.90	
コピー用紙使用量 (t)		1.00908	1.726	1.674	0.718 1.051	
産業廃棄物排出量 (t)		389.52	666.079	646.097	172.559 146.65	
水使用量 (m ³)		662	1,132.020	1,098.059	566 566	
有害化学物質含有量 (t)		1.56162	2.670	2.590	0.807 1.226	
グリーン購入 (件)		-	-	3 件	3 件 2 件	

購入電力のCO²排出係数 0.474kg - CO² / KWH

平成 24 年度中に車両を買い換えました。

商用車バン (ディゼル車) 商用車バン (ガソリン車)

2tトラック (ディゼル車) 10tトラック (ディゼル車)

評価としては・・・

この評価を観ると、良い結果になったと言えるでしょう。仕事量が171%も増えたことを考えれば、“大幅な削減になった”と考えてよいでしょう。

個別に観ていくと、電力使用量・コピー用紙使用量・産業廃棄物排出量・水使用量は平成22年度の基準年より減少しているということは驚きである。電力は工場内・屋外の電球を“LED”に換えているからだと思われるが他の要点もあると思われる。コピー用紙が1tより減ったことに関しては紙のやり取りではなく、電子データでのやり取りが増加したことがこの結果になったと思われる。産業廃棄物排出量は主に鋼材で今年度工場内の一斉清掃で昨年度の約147tから約173tと増加しているにも係わらず基準年の約390tに及ばないということは、如何に基準年が多かったかが窺える。塗料に含まれる有害化学物質は目標値は2.6tなのに対して実測値が0.8tと1tを下回りました。これは、『お客様に対して有害化学物質を含まない塗料の推奨』が浸透しているものと思われる。ガソリンと軽油の使用量に関しては、平成24年度中に基準年の時より自動車の入れ替えを行っているので比較するのには無理があると思いますが、昨年と比べてもガソリンは約2,100ℓから3,845ℓ、軽油は約6,238ℓから11,078ℓと大幅に増えています。運送会社の運転手不足により外注先との運搬を自社トラックで行っていることも影響していると考えますが、輸送方法とかエコドライブの更なる推奨をしなければならないと思います。

グリーン購入は、LED電球を購入・古紙の含有量の多いコピー紙を購入・印刷機のトナーやインクのリサイクル品の購入など環境に負担をかけない製品を積極的に購入しています。

その他の環境活動

この活動も5年目に入り、節電とかエコドライブ運転・5S活動・有害化学物質の含んだ塗料の使用削減など浸透してきています。これらの活動は更に前に進めていきたいと思えます。従業員への啓もう活動も随時行い、変わったことがあれば解り易くして食堂・事務所等に掲示してお知らせしています。

今年度は、仕事の流れを考え工場内の機械の配置を変えて人及び物が効率よく移動できるようにしました。それに伴って工場内にあった何年も放置された鋼材・板材を片付け、廃棄物業者に回収を依頼しています。これによって搬入搬出作業が迅速且つ安全に行えるようになりました。

工場北側入り口



北側にあった画面右側の機械を南側に持っていったのでC鋼や 鋼が無くなり広々としトラックの出入り・荷降しが楽になった（右写真）

工場南側入り口



何年も使わない錆びた板材を片付けてその場所に北側にあった機械を設置して仕事の効率上がるようにした（右写真）

今年度より古くなった安全帽（ヘルメット）をリサイクル施設に持っていくことにしました。今までは産廃ゴミになっていたと思いますが、多少の金額は掛かりますがリサイクルされるということは良いことです。一年間にどれくらい出るのか分かりませんが続けたいと思えます。



今年度の重要項目に掲げている安全教育を実践するため、当社従業員や外注業者も同席して講習を行いました。

物件の工程から作業手順の確認。クレーンや切削機・溶接機などの操作手順、周囲に声掛け確認等、初心に帰って事故になる原因を無くすように全員が心掛けてほしいです。全員に共通認識を持ってもらうように工場内に掲示物を貼り、注意喚起しました。



また、今年は弊社が委託している産業廃棄物処理業者の中間処分場の見学をしてきました。場所は新東名高速藤枝岡部ICの近くで周りに人家があり、交通の便も良かったです。敷地内に鉄骨の壁のない小屋が建っていてその中に色々な処理物が入っている箱がいくつも並んでおり、トラックやフォークリフトが忙しく動いていました。



今年度の活動評価

取り組み事項	取り組み内容（詳細）	評価	次年度
二酸化炭素排出量削減に関する取り組み	照明器具、その他電化製品の不必要時の消灯・消電		継続
	空調設備の温度設定の徹底（夏26 以上 / 冬22 以下）		継続
	クールビズ・ウォームビズによる服装での調節		継続
	照明器具・空調設備の定期的な清掃		継続
	計画的な輸送・運搬の実現		継続
	自動車のアイドリングストップの励行、急発進・急加速の禁止		継続
	自動車内エアコンの温度設定の見直し		継続
	自動車の定期点検・整備の励行		継続
一般及び産業廃棄物排出量の削減に関する取り組み	廃棄物を出さないために購入時の再検討	×	継続
	コピー用紙の両面使用・使用済み紙の両面使用		継続
	書類等の電子化推進		継続
	一般及び産業廃棄物の分別の徹底		継続
	3R の徹底 Reduce（ゴミ削減） Reuse（再利用） Recycle（再資源化）		継続
	材料・消耗部品等、無駄の無い使い方を周知徹底		継続
	材料在庫の管理、機械設備の定期点検・整備の徹底		継続
有害化学物質削減に関する取り組み	顧客に対して有害物質の含有量が少ない、または有害物質が含まれていない塗料を提案する		継続
水道水削減の取り組み	節水に努める		継続
	止水の確認、漏水検査		継続
その他 環境活動の取り組み	5S の徹底（整理・整頓・清潔・清掃・躰）		継続
	グリーン購入		継続
	防災訓練の実施	×	継続
	地域社会における緑化運動の推進	×	見直し

該当環境関連法規、訴訟の有無

法律名	該当する要求	該当整備・項目	届け出先・報告先	評価項目	評価
建築基準法	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準の遵守 ・建築工事業の許可 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計・施工 ・工事業 ・工場 	静岡県 国土交通省		
				許可期限	
				認定期限	
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> 《一般廃棄物》 ・一般廃棄物収集業者許可確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙くず ・木くず その他 	なし	許可業者	
	<ul style="list-style-type: none"> 《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託業者との契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 60cm × 60cm 以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理 マニフェストの集計、報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他 	マニフェストの期限内返却ない場合 … 知事へ報告 前年度の交付状況 … 知事へ報告	契約書 許可書 マニフェスト管理	
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> ・管理責任者の設置 ・処理の委託先の実地確認とその記録の保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃油 ・汚泥 ・廃ブラ その他 	不適正な処理が行われた場合 … 知事へ報告	委託業者	
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー ・油圧機 ・切断機 	焼津市	新設・変更	
				基準の遵守	
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設への届け出 ・規制基準の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー ・油圧機 ・切断機 	焼津市	新設・変更	
				基準の遵守	
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の設置 ・変更の届け出 ・法定点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・分離式 パッキ方式 20人 	新設・変更の場合 ・知事へ届け出	新設・変更	
				点検 1回 / 3ヶ月	
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・指定可燃物の届け出 (指定数量の1/5以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・塗料 2,000kg 	焼津消防署	新規・変更	
高圧ガス保安法	<ul style="list-style-type: none"> ・アセチレンガス 0.2メガパスカル以上 ・酸素ガス 1メガパスカル以上江 ・液化炭酸ガス 	<ul style="list-style-type: none"> ・アセチレンガス 	<ul style="list-style-type: none"> ・知事へ届け出 	許可期限	
				保安基準	
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・建設副産物 鉄、コンクリート 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象建設工事 ・解体建設工事 	… 知事へ報告	マニフェスト管理	
PRTR法	<ul style="list-style-type: none"> ・有害化学物質管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・キシレン、トルエン、鉛 	静岡県省庁	適用業種外	-

遵守評価日：平成 26 年 11 月 25 日

過去 3 年間、当事業所における業務上関係のある法令及び条例違反、地域住民利害関係者からの訴訟及び苦情はありません。

地震、火災等による緊急時対応マニュアル

1. 適用範囲	鉄工場敷地内（工場、事務所、資材置き場 他）
2. 目的	予防処置、発生時の処置を定め、汚染拡大を防止する。
3. 予防措置	<p>工場内及び作業中は“禁煙”とする。（休憩時間に指定場所でのみ喫煙）</p> <p>指定場所には消火器を設置し、法定点検を厳守する。</p> <p>工場内等で火気を使用する場合は周りを片付け、燃えやすい物がないか安全を確かめてから実施すること。</p> <p>重量物を保管する場合はあまり高く積み上げない事。</p> <p>やむを得ず積み上げるときは、荷崩れしないような対策を講じておく事。</p> <p>5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底。</p>
4. 緊急時の対応 （地震・火災）	<p>地震、火災等が発生した場合、人命を第一に行動すること。</p> <p>緊急時、人が倒れていた場合は安全な場所まで移動させる。</p> <p>意識の有無を確認。無かった場合は声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて、反応を確認（体をゆすったり、動かしたりしない）。</p> <p>大声で周りの人に応援要請し、消防に通報、気道の確保、人工呼吸を行う。</p> <p>外出血、特に大出血を認めた場合は直ちに止血の処置を行う。</p>
（地震の場合）	<p>激震等の緊急事態が発生したら、安全な場所への一次避難を実施する。</p> <p>地震がおさまったら主電源を切ること。二次避難の実施。</p> <p>安全なことを確認の後、保管品の状態確認。</p> <p>保管品の飛散状態を確認し、液体物での漏れ等で水質や土壌汚染が考えられる場合は大声で周りの人に応援要請する。</p> <p>液体物での漏れ等が確認されれば、直ちにウエス等で周囲を囲い、流失拡大の防止に努める。</p> <p>安全管理責任者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p> <p>津波警報が発令された場合は、大事なものだけをもち、4階現寸場へ全員避難する。</p>
（火災の場合）	<p>火災等の緊急事態が発生したら大声で周りの人に通報。その後構内放送で応援要請する。危険と判断したら即座に非難する。</p> <p>応援要請を受けたものは直ちに消防へ連絡し、消火活動にあたる。</p> <p>対応不可能と判断した場合は、直ちに消防へ連絡し、消火活動を続行する。危険と感じたら即座に避難を開始する。</p> <p>消防管理者に報告し、その後の処置を仰ぐ。</p>
5. 緊急連絡網	緊急時の緊急連絡網は別紙あり

代表者による評価

現在の日本は東日本大震災の影響で運転可能な原子力発電 49 基のうち関西電力の大飯原発の 2 基が運転中で他の 47 基は運転停止及び定期点検中ということで、総電力に占める原発の割合は震災前の 30%強から約 2%程度となり、逆に増えたのが石油等・LNG（液化天然ガス）・石炭の火力発電が 6 割から 9 割に上昇し、残りは水力発電ですがこれはあまり変化なし、という事になっています。石油と LNG の輸入量が増えてコストが上がり電力料金にも跳ね返ってきます。これは企業にとっても地球の環境にとっても重要な問題ですが、だからと言って原発再稼働賛成とは素直にいきません。震災による事故によって原子炉の廃炉・放射能に汚染された土地の除染とかそこから出るゴミの処理等長い時間と費用が掛かり原発の安全神話が崩れました。また放射能汚染によって甚大な被害・苦痛を地域住民に与えています。

これからは地球にやさしい自然（再生可能な）エネルギーの開発に力を注いでほしいです。地球には太陽光発電・風力発電・地熱発電・波や海流の力を利用した発電・バイオマス発電等まだまだ利用できる自然があります。

弊社でも工場の屋根に太陽光発電パネルの設置を考えましたが予算が合わず断念しました。もう少し低予算で発電効率のよいパネルが開発されることを願っています。

今年度は 8 頁の表のように 9 項目中 6 項目が目標値を下回っており、その中で 3 項目が前年度実測値より減少している。仕事量が 171 % 増加したことを考慮すれば“良い結果になった”と言えるでしょう。達成できなかったガソリン・軽油も輸送方法とかエコドライブ運転を実施してクリア出来るよう努力してまいります。グリーン購入も前年より 1 件増えましたが他に何かできるものがあるのではないかと思います。これは次年度の課題として考えていきます。

その他の活動評価についても防災訓練や緑化運動の推進に会社として時間や予算を割いていかなければならないと考えます。

次年度に向けて目標値を下回るように更なる努力・協力を従業員にお願いし、協力会社様にも同様な対応をして頂くように、会社一丸となって持続可能な循環型社会の構築を目指していこうと思います。

これからもよろしくお願い致します。

平成 26 年 12 月

株式会社 柏原鐵工所
代表取締役社長 柏原明包

来年度に向けて

今年度、弊社は昨年よりも忙しくなり鋼材購入量が基準年の購入量に比べて71%も増えたことにより目標値が増大しクリアし易くなったかもしれませんが、基準年の数値よりも下がっている項目もあるので活動の成果は出ているものと思います。

基準年に比べて3年連続で鋼材購入が増えているということは喜ばしいことです。来年度も増えることを願っています。クリアできなかったガソリン・軽油については車両の入れ替えを行っているので正確な比較はできませんが、前年より大幅に増えています。このことに関しては仕事量が71%も増えているので仕方ないのかもしれませんが、効率のよい運搬計画を立てることが重要であり、運転者にはエコドライブの更なる徹底が必要と考えます。有害物質排出量は法令によって有害物質を含んだ塗料が使用禁止になるので更なる減少になると思います。紙使用量も電子データの利用で減らしていければと思います。会社側にも節電・高効率の機械設備の購入を推奨したり、地域の防災活動に協力したり、国・県等の助成金の事も調べ、今まで行っている活動を継続して、他に何ができるかを考えていきたいと思います。

来年度の目標値は4%の削減となります。更に厳しくなりますが目標値を達成できるよう努力します。

何か疑問・質問・意見等ありましたら担当者まで申し出てください。来年度に活かせるようにしたいと思います。

ご一読頂きありがとうございました。

ea21 担当者より

最後に建設現場の様子を2コマ紹介します。



某津波避難施設



某物流倉庫